

【めざす学校像】

「笑顔と感動溢れる豊殿小」この学び舎で

「笑顔と感動が溢れる学校」とは  
自分が自分らしくいられる場所  
違いを認め合える場所  
自分の考えが安心して語れる場所  
感情を素直に出せる場所



学校教育目標

心豊かで 向上心を持ち 実践力のある 子どもの育成

《育てたい子ども像（学校教育目標を具現した子どもの姿）》

心豊かな子:感じたことや思ったことを自分の言葉で語れる子  
向上心を持つ子:よりよい自分になろうと努力する子  
実践力のある子:思い考えたことを行動にうつせる子



学校づくり・授業づくりの方針

【子どもにつける3つの力】

- ①「自分の言葉で語る力」(合言葉 「つたえよう」)
- ②「よりよくなろうと努力する力」(合言葉 「くふうしよう」)
- ③「行動にうつす力」(合言葉 「やってみよう」)

学校生活のすべてにおいて、「3つの力」をつけることを目標に、  
教職員がチームを組んで指導・支援を行う。

3つの力をつけるための教師からのアプローチ（指導・支援の具体）

以下の5点を、個人とチームで問い続け、授業づくり、活動づくりを行う

- ・子どもが興味・関心、疑問などをもつ単元(題材)・活動との出合わせ方ができているか
- ・子どもが体験や経験、既習を基にしたり、多様な考えを比較したりして学習・活動に取り組んでいるか
- ・問題の解決のために、子どもが、分かっていることと問題になっていることを明確にする、解決の見通しをもったり仮説を立てたりする、自分で考えた問題解決の見通しや立てた仮説を試す場が設定できているか
- ・子どもが、自分の言葉で語りたくなる場や語る場が設定できているか
- ・自分の考えの過程を整理したり、学習や活動の成果・自分の変容を感じたりする場が設定できているか